

令和 6 年度

事 業 報 告

社会福祉法人リベルテ

社会福祉法人 リベルテ

令和 6 年度事業報告

平成 9 年より運営を開始し、今年で 28 年を迎え法人の基盤強化と事業の発展を模索してまいりました。この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意思を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として運営しております。

社会事業としては、特別養護老人ホーム・保育所の運営・一時預かり事業等を行っております。

施設内の行事の取り組みや地域との交流に関しては、感染対策を継続しながらも、ボランティアを受け入れたり、交流保育を実施したりと、各施設の状況を鑑みながら楽しく行事を開催した 1 年でした。

【施設設備状況】

契約業者に定期点検を依頼しており、老朽化した箇所等は都度整備し、安全性を高めました。

- ・回転等の設置、防犯カメラの増設（本部）
- ・施設内の OA 機器の整備
- ・ナースコール、井戸水ろ過修理（サンホーム）
- ・AED の設置（サンホーム、保育園）

【職員の確保と資質向上】

適正で安心した施設運営を行い、利用者の施設環境の充実を図るため、職員の資質向上を目指し、日頃より努力し、日常業務が円滑に進められるよう人員の確保に追われた 1 年でした。積極的に外部研修の参加、個々の日常業務の努力が見られました。

また障害者雇用促進法改正に伴い、障害のある方を 2 名雇用し、健常者同様に能力を発揮できるよう職場環境を整えました。

今後も職員の安定、安心できる働きやすい環境設定に心掛け取り組んでまいります。

法人の運営

令和6年度 社会福祉法人リベルテ理事会等の報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

月 日	項 目	内 容
令和6年5月23日 (木)	法人 決算監査	令和5年度の法人会計全般 (別紙監査項目と監査結果について)
令和6年5月25日 (土)	第1回定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務状況報告について 議案第1号 令和5年度事業報告について 議案第2号 令和5年度収支決算報告の承認について 議案第3号 評議員会開催の日程について 議案第4号 評議員選任・解任委員の選任について
令和6年6月8日 (土)	第1回定例 評議員会	議案第1号 令和5年度事業報告の決議について 議案第2号 令和5年度収支決算報告の決議について
令和7年1月25日 (土)	第2回定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務状況報告について 議案第1号 特別養護老人ホームサンホーム真壁貸付金制度 規程の廃止について 議案第2号 特別養護老人ホームサンホーム真壁就業規則 一部変更について 議案第3号 保育園就業規則一部変更について 議案第4号 特別養護老人ホームサンホーム真壁準職員取扱 要領一部変更について 議案第5号 保育園準職員取扱要領一部変更について 議案第6号 特別養護老人ホームサンホーム真壁高齢者雇用 要領一部変更について 議案第7号 保育園再雇用嘱託職員就業規則一部変更について 議案第8号 社会福祉法人リベルテ旅費規程一部変更について 議案第9号 社会福祉法人リベルテ退職金規程全文改正について 議案第10号 特別養護老人ホームサンホーム真壁給与規程 一部追記について 議案第11号 保育園給与規程一部追記について
令和7年3月22日 (土)	第3回定例 理事会	議案第1号 令和7年度事業計画(案)について 議案第2号 令和7年度収支予算(案)について 議案第3号 保育園園長変更について 議案第4号 評議員選任候補者の推薦について 議案第5号 育児・介護休業等に関する規程一部改正について

定期報告等 : 法人現況報告について・法人変更登記

諸規則等の改正 : 諸規則等を必要に応じて改正

令和6年度 サンホーム真壁 事業報告

特養・短期入所

令和6年度の入所稼働率（短期入所含む）は、87.6%でした。

平均介護度3.7

利用者が最期まで自分らしく安心して暮らせるよう、嘱託医との連携を図りながら入所者の健康管理を行うと共に、生活リハビリを中心に残存機能の維持に努めました。また、日常生活に楽しみが持てるよう外出の機会を増やし、ボランティアを受け入れるなど、レクリエーションに力を入れ取り組みました。

令和6年度は4名の利用者を施設で看取りました。ご家族様も定期的に面会することで、お別れの準備ができ穏やかな気持ちでお見送りすることができました。

感染症対策について

感染委員が中心となり、基本的な感染対策として、1日2回の検温・うがい・手指消毒・マスクの着用・換気・施設内消毒など行って参りました。

また、感染症及び食中毒に関する研修や実技演習を行いながら、知識や対応の仕方を身に付けました。

7/12に職員一人にコロナウイルス感染が認められ、7/21～7/25の間に7名の利用者がコロナウイルスに感染しました。昨年度のクラスター感染を教訓に、ゾーニングを行い、感染が広がらないよう、看護師、感染委員の指揮のもと、徹底して感染対策に努めました。

身体拘束廃止及び虐待防止の取り組みについて

身体拘束・虐待防止委員会が中心となり、身体拘束が必要な利用者には、解除の方向に向けた取り組みを行いながら、委員会を定期的開催し、解除の検討をしました。

虐待防止に向けては、心身状況に目を配り、異常の発見に努めました。また、虐待についての知識を得て、自身の言動にも注意が払えるよう、研修に参加し学びました。

職員の資質向上の取り組み

令和6年度も引き続き、オンラインや集合研修に参加し一人ひとりがそれぞれのキャリアに応じて能力や資質を高められるように研鑽に励みました。

事業継続計画について策定内容の確認を行い、地域との関りについて、地元警察署警備課と話し合いの場を持ち、災害時のみならず、普段から協力し合えるような関係が築けるよう、取り組みました。

AEDを使用した蘇生術を、全職員が習得できるよう研修を行い、一時救命処置がいかに大切かを再認識しました。

令和6年度 サンホーム真壁 会議・委員会報告

【会議・委員会】

会議・委員会名	開催頻度	内 容
施設会議	毎月開催	施設運営全般について
入所検討委員会	〃	入所希望者の情報共有、検討会 (各関係機関等への参加要請)
給食委員会	随時開催	献立や食事の提供方法の見直しなどの検討 嗜好調査、検食簿の確認、意見等の反映
口腔ケア・ 栄養管理委員会	〃	入所者の栄養状態の把握 口腔内及び嚥下機能に応じた食形態の 検討、計画書の作成、モニタリング、再アセスメント、体重測定
環境整備委員会	〃	エアコンフィルター掃除、外窓の洗浄 備品の在庫管理。衛生用品の管理及び発注依頼
防災・災害対策委員会	〃	消防訓練の計画及び実施 非常食備蓄の管理 自然災害に関する事業継続計画の話し合い及び訓練の実施
レクリエーション委員会	〃	季節を楽しむ外出等の計画及び実施 催事等の企画 ボランティア慰問調整
リスクマネジメント・ 安全対策委員会	〃	事故原因の特定及び分析、予防方法の検討。職員への周知、委員 会の開催及び研修への参加 事故報告書等の記録の整備
感染対策委員会	〃	感染症、食中毒に関する研修、訓練の実施。感染症発生時の対策 及び指導 感染症に関する事業継続計画に関する話し合い
褥瘡委員会	〃	褥瘡予防や対応方法の検討及び褥瘡の状態の把握 状態に応じた福祉用具の選定 研修への参加
看取り委員会	〃	嘱託医の指導(終末期介護の趣旨徹底など)ケアの方針についての 話し合い、振り返り
身体拘束・ 虐待防止委員会	〃	身体拘束廃止に向けての取り組み及び取り組みに対するモニタリン グ 虐待防止委員会の開催及び研修計画
担当者会議	〃	入所者の情報の共有及び計画書の策定など

【その他】

項目	実施日	内 容
防災訓練	令和6年6月16日	避難訓練(夜間火災想定)
	令和6年12月9日	総合訓練(火災想定)消防署、防災会社立合有
苦情処理	令和6年10月24日	苦情解決研修受講

令和6年度 サンホーム真壁 行事・催事等の報告

月	行事名	実施内容
4 月	花見	桜花見（市内ドライブ）
	誕生会	4月生まれ、誕生者は外食かプレゼント選択、ケーキ
5 月	母の日	写真撮影会、プレゼント、行事食（お祝膳、甘味）ボランティア(踊り)
	誕生会	5月生まれ、誕生者は外食かプレゼント選択、ケーキ
	春の外出（買い物）	下妻イオンにて買い物（希望者のみ）
6 月	父の日	写真撮影会、プレゼント、行事食（お祝膳ノンアルビールおつまみ）カラオケ
	誕生会	6月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
7 月	七夕まつり	七夕飾り、行事食の提供、写真撮影会
	誕生会	7月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
8 月	納涼祭	お菓子の掴み取り、行事食（ちらし寿司他）花火大会、盆踊り
	誕生会	8月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
9 月	誕生会	9月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
	敬老会	長寿のお祝い、写真撮影会、行事食提供、紅白饅頭、ボランティア(生バンド演奏)
10 月	運動会	運動会（玉入れ、パン食い競争）、行事食の提供（運動会弁当）
	誕生会	10月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
11 月	紅葉ドライブ	大宝神社へドライブ（菊祭り）
	みかん狩り	サンホーム農園でのみかん狩り
	誕生会	11月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
12 月	クリスマス会	写真撮影会、プレゼント、行事食の提供（海鮮丼、ケーキ）歌
	誕生会	12月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
	餅つき	餅つき、おやつ（お汁粉）
1 月	新年会	行事食の提供（握りずし）、サンホーム神社参拝
	誕生会	1月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
2 月	節分	豆まき、行事食の提供（ちらし寿司）、甘酒
	誕生会	2月生まれ、誕生者は外食かプレゼントを選択、ケーキ
	地域散策	真壁のひな祭り見学
3 月	ひなまつり	玄関ホール雛人形観賞、行事食の提供
	花見ドライブ	近隣の桜の名所ドライブ
	誕生会	3月生まれ誕生会、

※ 毎月10日、地域貢献事業（地域清掃活動）

令和 6 年度 東平塚保育園事業報告書

今年度は0歳児が2名からのスタートとなり稼働率も94%でしたが、後半には100%を超えることができました。つくば市の現状は、4月の0歳児の待機児童は0人であることから、選ばれる園でなければならぬことを念頭により良い保育を進めてきました。

子どもたち一人一人の育ちを大切にしながら園の特色である1年の行事の在り方を見直し今まで以上に楽しめるような創意工夫をしてきました。

毎年続けている田植えや稲刈り、しめ縄づくりはとても保護者の方々にも好評です。野菜づくりでは、栄養士も参加でクッキングを行ってきました。夏祭りや運動会の出し物や競技なども子どもたちと一緒に決めてきたので、意欲的に楽しく進められてきたことは協調性や社会性と思いやりの気持ちが培ってきていると思っています。

今年度新しく実施できた土浦第二高校の書道部の書道パフォーマンスは年長児の交流事業でしたが、シャボン男爵の大きなシャボン玉遊びは0歳児から楽しめました。そして昨年度から行っている相撲大会でも、男女の垣根を越えての力のぶつかり合いができ、普段あまり体験しない事象に、勝ち負けがとても良い経験になりました。

今後とも、子どもたちの最善の利益を守り、明るく楽しい保育園生活が送れるよう職員と保護者の皆様と協働で進めて行きたいと思っています。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
4歳児	12	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
3歳児	20	18	19	19	19	19	19	19	19	19	18	17	17
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
1歳児	16	12	12	12	12	12	12	12	15	15	15	15	15
0歳児	12	4	6	6	6	6	6	8	8	8	8	8	8
合 計	90	84	84	84	87	87	87	87	91	91	91	91	91

イ) 職員体制(計 25 名) 4月1日現在

園長	1名	保育士	11名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	6名	調理員	1名
副主任保育士	1名	看護師	1名	補助職員	2名

2.保育の実施状況

- 穏やかな保育を進めながら子どもたちの育ちに寄り添い、いろいろな行事を楽しみ、興味や関心を深めながら協調性や社会性などが身につくようにしてきました。
- 衛生面を徹底する中で、日常の生活習慣がスムーズに送れるよう配慮し、職員間の連携で一人一人の成長を大切に進めてきました。
- 定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心につながるようにしてきました。

主な園内・園外行事

実 施 日	内 容	場 所
4 月 1 日	入園式・進級式	一時保育室
5 月 2 日	こどもの日集会	多目的ホール
5 月 10 日	筑波ハム工場見学:年長児	筑波ハム工場
6 月 18 日	交通安全教室(つくば市交通安全課)	一時保育室
7 月 7 日	七夕集会	多目的ホール
7 月 17 日	夏まつり	多目的ホール・中庭
8 月 9 日	書道パフォーマンス	本部2階ホール
9 月 13 日	お月見会	多目的ホール
9 月 26 日	運動会	園庭
9 月 30 日	シャボン玉パフォーマンス	園庭
10 月 11 日	親子遠足	ひたち海浜公園
10 月 30 日	消防署見学	つくば消防署
10 月 30 日	ハロウィンパーティー	園舎内
11 月 12.13 日	みかん狩り(年長児)	内田果樹園
11 月 19 日	交流事業「おいでよ春日ランド」	春日小学校
11 月 28 日	食育「魚の解体ショー」	多目的ホール
12 月 7.12 日	発表会(以上児、未満児)	一時保育室
12 月 25 日	クリスマス会	一時保育室
1 月 10 日	餅つき(ならせ餅)	多目的ホール
1 月 17 日	すもう大会	多目的ホール
1 月 31 日	わくわく東平塚ランド(異年齢児交流)	多目的ホール・各保育室
2 月 3 日	豆まき集会	多目的ホール
2 月 20 日	縄跳び大会	各保育室
3 月 3 日	ひな祭り集会	多目的ホール
3 月 12 日	新入園児健康診断・入園説明会	多目的ホール・職員室
3 月 13 日	お別れ会	一時保育室

3月14日	お別れ遠足	エキスポセンター
3月17日	卒園式	一時保育室

※ その他、誕生会(毎月)、野菜の苗植え、収穫(夏野菜・ジャガイモ・さつまいも)クッキング等
個別面談(6月・1～2月)

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施(6/12・11/11)
- ・歯科検診 年2回実施(6/21・11/8)

イ) 食育(給食)

- ・自分たちで育てた季節の野菜を収穫したり、観察したりしながら、「食を楽しむ」ことに取り組んできました。育てた稲でしめ縄づくりもを行いました。
- ・収穫した野菜を使ったクッキングでは、調理をする楽しさを経験し、食に対する関心を深めることができました。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギーの相談や除去食の提供を行いました。(給食会議 月1回)

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリ・ハットの事例をまとめ、職員に周知することで、事故要因の解消につなげ、事故件数の減少に取り組んできました。
- ・交通安全指導では新たにお散歩計画を作成し、見守り職員を必ず動員させ、安全面の強化に努めました。また、災害時に備えての話し合いをしながら避難訓練を実施しました。

実施日	内 容	消防立合	実施日	内 容	消防立合
4月17日	訓練の種類を覚える	無	10月21日	園内火災	無
5月27日	地震からの火災	無	11月15日	風水(竜巻)	無
6月26日	火災(通報訓練)	有	12月6日	火災(通報訓練)	有
7月19日	地震	無	1月22日	地震	無
8月19日	風水(竜巻)	無	2月26日	風水(竜巻)	無
9月18日	地震(引き渡し訓練)	無	3月11日	地震・火災	無

エ) 防犯訓練(年3回 実施)

7月23日	不審者想定	10月17日	一時避難	2月14日	二次避難
-------	-------	--------	------	-------	------

3.職員

ア) 衛生感染対策

- ・職員健康診断(10月) ・保菌検査 毎月(10月～3月ノロウイルス実施)
- ・インフルエンザ予防接種(職員全員接種)

イ) 会議

- ・職員会議(毎月) ・給食会議(毎月) ・以上児会議・未満児会議・リーダー会議等随時

月の予定確認やクラスごとの様子、各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めました。
行事においては反省点を踏まえ、次年度の課題として取りまとめてきました。

ウ) 園内・外部研修

・職員の資質向上を目指し各研修に全員参加できました。

園内研修状況

開催日	研修名
6月27日	気になる子への支援・巡回相談報告
6月27日	プール遊びについて(職員の心構え・留意点)・夏の感染症
7月26日	保育士のコミュニケーションについて(保育士間、こども・保護者へ)
8月9日	リミック(楽しく覚えるために)
9月20日	救急、防災(応急処置や災害時の対応)、BCP(事業継続計画)について
10月22日	ヒヤリハット①遊具点検の仕方、園内の危険箇所 冬の感染症
11月7日	スピーチロック防止
12月16日	遊びのレパートリーを増やそう!
1月11日	児童の尊重(虐待防止・不適切保育について)
2月12日	絵本の読み聞かせ(選び方・読み方)
3月7日	ヒヤリハット②集計からみられる反省点 BCP(事業継続計画)の確認

園外研修状況

実施日	内容
6月10日	令和6年度第1回保幼小接続担当者研修 zoom
6月28日	つくば市スキルアップ講座「すぐ実践できるしかり方講座」
7月20日	つくばブロック保協「保育と教育の架け橋コンサート」
7月31日	つくば市スキルアップ講座「子どもの心と言葉の育ち、気になる子の理解と対応」
8月20日	令和6年度保育士研修Ⅰ「コミュニケーションと適切な保育について」 zoom
8月29日	つくば市スキルアップ講座「一緒に遊ぼう! わらべ歌の実践」
9月5日	令和6年度中堅保育士研修Ⅰ「インクルーシブな保育について」 zoom
10月17日	令和6年度保育士研修Ⅱ「小学校との連携について」 zoom
10月31日	令和6年度リスクマネジメント研修B「リスクマネジメントを前向きに取り組むために」
11月11日	令和6年度食育研修について「保育と給食の関わり～心と体を育てる食育」 zoom
11月14日	令和6年度発達障害研修「発達が気になる子の理解と支援」 zoom
11月16日	第46回茨城県保育大会
12月3日	令和6年度中堅保育士研修Ⅱ「不適切な保育と子どもの権利条約について」 zoom

1 月 29 日	つくば市民保協:施設長研修「つくば市行政報告～問われる“保育”の質と役割～」
1 月 29 日	つくば市民保協:職員研修「不適切保育について」
2 月 22 日	つくばブロック保協 研修「落語」

5.家庭との関わり

- ・各クラス、ホワイトボードを活用し、作品の展示や写真などで知らせてきました。
- ・保護者には園だよりや保健だよりを活用し、園内の様子をできるだけ伝えてきました。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭での生活と園での生活の情報を共有してきました。
- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー(配信システム)を利用。

ア)保育参観

- ・年2回6月は自由参観、2月は各クラス実施。

イ)苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行う予定でしたが、今年度もありませんでした。

6.地域とのかかわり

10月に春日小学校との交流事業「おいでよ春日ランド」に参加することができましたが、コロナ禍前に実施していた近隣の老人ホームへの慰問などは感染症が落ち着かない時期で行うことができませんでした。しかし、今年度は土浦第二高校の書道部学生の書道パフォーマンスを目の前で見ることができたり、パフォーマンスのお礼に童話館保育園の園児とリトミックを披露したり、プレゼントの交換などと交流を楽しむことができました。

今後も地域の方々と関わりが持てるような工夫をしていき、地域に根差した保育園を目指していきたいと思っています。

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	未満児会議や以上児会議等で話し合い保育の内容や進め方など主任を交えて話し合い、行事等ではリーダー会議などで全体的に統制が取れるように話し合ってから、全体に職員会議等で周知、調整してきたが、特に問題なく進められてきました。	常に以上児会議、未満児会議やリーダー会議を通して話し合い、主活動から行事への取り組みまで年齢に応じた指導や教材が検討されてきました。行事では職員と子どもと一緒に楽しむことができ、園全体としてのバランスも良く進められてきていると評価します。
	発達援助の基本	各指導計画をもとに円滑にクラス運営がなされ、年齢にあった指導が安全に取り組めることを職員間で再度確認し、余裕のある保育を心掛けてきました。また、気になる子どもも多いので、巡回相談を利用して、さらに的確な指導ができるよう努めてきました。	子どもたちの発達に合わせた環境づくりをし、楽しく行事にかかわってきました。年齢に合わせたさまざまな活動から、心身共に健康で、基本的な生活習慣の自立を目指し進めてきました。今後も、楽しく登園できて、楽しく成長できる環境づくりを担保していきたいです。
	健康管理・食事	健康管理では毎朝の視診での気づきや保護者からの伝達などを担任へきちんと報告し、看護師のアドバイスを受けながら、子どもの状態を把握できる環境づくりをしてきました。 毎月の給食会議等では離乳食やアレルギー食の対応についてもよく話し合い、職員間で共有しながら進めてきました。	毎朝の視診や検温など、受け入れ時の職員との連携をしっかりと取りながら健康の把握をし、気になることがあれば保護者に確認するなどの対応もしっかり行ってきました。基本となる手洗い、うがい、こまめな水分補給が常態化しました。また、野菜の栽培や収穫を通して苦手だった食べ物の克服など成果が見られ、食育も楽しみました。
	保育環境	周囲の様々な環境に興味や関心が持てるよう絵本や紙芝居の提供、年齢に合わせた教材、散歩や園外保育などいろいろな行事を通して好奇心や探究心の芽生えを促し、のびのびと成長していける環境づくりを心掛けてきました。	未満児はなるべく外に出て元気に走りまわり体力づくりに、以上児はいろいろな体験ができるようなカリキュラムにと、担任を中心に話し合いながら教材の提供を進めてきました。バスでの園外保育はすごく楽しみな行事の1つなので今後も残したいです。
	子育て支援	今年度は保護者の方からの子育て相談が多々あり、いつもより一歩進んだアドバイスになったり、みんなで事象を考える機会がありました。アドバイスをしながら職員間の連携の見直しや、共通理解の必要性を改めて感じさせられた1年でした。	毎日の連絡帳の活用から、家庭の様子を伺ったり、子どもたちの成長に共感したり、保育園での取り組みなどを理解してもらい、子どもたちにより良い環境で生活できたと思っています。今後も保護者や子供たちの気持ちに寄り添った保育を心掛けていきます。
	地域住民や関係機関などの連携	地域の交流はなかなか難しく、今年度は近隣の工場でハンバーグやソーセージ作りの見学をしました。ヨーグルトの試食も行うことができ、子どもたちは笑顔で帰ってきました。年長児は近くの小学校に招待され、1年生との交流会に参加しました。	まだまだ感染症対策に余念を許さず、老人ホームへの慰問などはなかなか難しいですが、今年度は、筑波ハムの工場見学を楽しむことはできました。また、春日小学校の交流事業でも1年生の子どもたちと触れ合い、楽しかった経験も小学校への期待感につながりました。
	運営管理	保育士不足が騒がれている今日、つくば市の待機児童も収まりつつある中でも新設園が急増しており、人員確保が難しくなっています。併せて、気になる子の加配の必要性を加味し、やっと定員数を超えている状態で、管理運営が厳しくなっているのが現状です。	東平塚保育園の良さを崩さず、保育理念を加味した中で、クラス運営が円滑に進められるよう職員の質の向上を目指していきます。職員間の共通理解の下で子どもたちの受け入れ態勢をしっかりと行っていき、いつまでも選ばれる園を構築していけるようにしていきたいです。

令和6年度 童話館保育園事業報告書

今年度の保育利用者状況については、全体的には定員を満たした在園児数を確保できました。

運営においても、安定した会計報告であったと思います。

これから広がる少子化の中、社会の中での保育園の役割が明確になり、より質の高い保育及び環境が求められています。職員は、スキルアップのためのキャリアアップ研修他各種研修を受講し、各分野の学びを深め専門性を高めてまいりました。また、園児の安全を守る上で、安全・防災計画の点検や見直しもしてまいりました。園児、職員、保護者が安心して過ごすために不審者対策訓練・救命講習等を実施し、AEDの導入で、万が一の際に敏速に対応できるようにしてきました。今後も安心して過ごしていける環境と豊かな遊びと体験を提供していきたいと思います。また、職員の業務削減のため、ICTを導入していく予定です。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
4歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
3歳児	12	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
2歳児	12	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	10	3	4	4	4	6	8	8	8	9	9	9	9
合計	70	70	72	72	72	74	76	76	76	77	77	77	77

イ) 職員体制 (計21名)

園長	1名	保育士	9名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	5名	調理員	1名
副主任保育士	1名	看護師	1名	保育補助	1名

2. 保育の実施状況

- ・指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活を送れるよう取り組んだ。
- ・各園児の発達状況にあった保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。
- ・異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

《主な園内・園外行事》

4/1	入園式	童話館保育園(2F ホール)
5/2	こどもの日集会	3～5 歳児対象 (2F ホール)
5/10	野菜の苗植え	園庭 (畑)
5/13～17	懇談会	全クラス (1F 相談室)
6/4	歯みがき集会	3～5 歳児対象 (2F ホール)
6/24～26	保育参観	0～5 歳児 (各クラス)
7/1	プール開き	3～5 歳児対象
7/5	七夕集会	0～2 歳 (各クラス) 3～5 歳 (2F ホール)
7/26	夏まつり	2 歳児～ (2F ホール・園庭)
9/28	運動会	2～5 歳児参加 (園庭)
10/11	お楽しみ保育 (カレー作り・プラバン製作)	5 歳児 (園庭・室内)
10/29	親子遠足	3～5 歳児対象 (おもちゃ博物館)
10/31	ハロウィン集会	全クラス (0～5 歳児)
12/6	みかん狩り	5 歳 (八郷：内田果樹園)
12/21	発表会	2～3 歳児 (1 部)・4～5 歳児 (2 部)
12/25	クリスマス会	未満児・以上児に分かれて参加
1/15	餅つき (ならせもち)	全クラス参加
1/20～22	保育参観	全各クラス
2/3	節分集会	3～5 歳児 (ホール・園庭)
2/12～18	懇談会	全クラス (1F 相談室)
2/28	お店屋さんごっこ	全クラス
3/3	ひなまつり集会	全園児
3/4	劇上演・鑑賞	劇団バク「うさぎとかめ」全園児
3/7	お別れ遠足	いちご狩り (5 歳児)
3/18	お別れ会	全園児 (2F ホール) 午前・午後
3/21	卒園式	童話館保育園 (2F ホール)

※ 子どもたちが楽しめる行事（活動）をできる範囲・内容でおこなった。

ア) 健康管理

- ・ 内科検診 年 2 回実施 (6/3・11/18)
- ・ 歯科検診 年 2 回実施 (6/13・11/11)

イ) 食育 (給食)

- ・ 季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れ、「食を楽しむ」ことに取り組んだ。

- ・クッキングの活動の中で、体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
 - ・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。
 - ・給食会議：離乳食会議（月１回）
給食の内容を検討したり改善点などを話し合った。
（アレルギー除去食について・離乳食の進め方等）
- ※ 毎月第３週の日には栄養士が４、５歳児を対象に食育指導を行っています。

ウ）安全対策

- ・ヒヤリハット報告書の事例を検証し、事故要因を解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え、避難訓練を行った。

実施日	内容	消防立合い	実施日	内容	消防立合い
4/24	地震・火災	無	11/20	火災	無
5/22	火災	無	12/18	火災（予告なし）	無
6/12	火災	無	1/10	火災（通報・初期消火訓練） 不審者訓練	有
			1/29		無
7/17	地震・火災 （通報訓練）	無	2/19	地震・火災	無
8/21	台風（水害） 防犯教室	無	3/12	火災	無
9/13	地震（引き渡し訓練）	無			
9/18	不審者訓練				
10/23	地震（強度）	無			

- ※ 不審者訓練（年２回 9/18・1/29 実施）
- ※ 消防隊員による救命訓練（11/21 実施）
- ※ AED 使用訓練（12/5 実施）

３．職員

ア）衛生感染対策

- ・定期健康診断（11/19）保菌検査（毎月全員）
- ※ ノロウイルス検査（10～3 月）給食室

- ・インフルエンザ予防接種（10/23）職員全員接種

イ）会議

- ・職員会議（毎月）

子どもが安心して楽しめる環境作りを目指し、クラスごとの様子や各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めた。行事においては反省会を開き、翌年以降の課題を取りまとめた。

ウ）園内・園外研修

- ・職員の質の向上を目指し各研修に参加した。

※ 今年度もコロナ感染の影響でリモートでの研修が行われた。

《園内研修状況》

4/30	保育士の心得・身だしなみ、言葉使い・保健（乳幼児突然死症候群：SIDS）
5/27	手遊び・リトミックについて・保健（熱性けいれん）
6/18	プール遊びについて・保健（夏の感染症・とびひ）
7/25	アレルギーについて（エピペンの使い方）・保健（熱中症について）
8/23	災害用伝言ダイヤル・保護者支援・保健（視診と健康観察について）
9/23	幼児教育（キャリアアップ）について・保健（けがと事故）
10/23	嘔吐処理の仕方・感染症、胃腸炎の対応
11/22	働きやすい環境づくりについて・保健（登園停止の感染症）
12/18	感染性胃腸炎・保育実践（キャリアアップ）・リトミック
1/15	食品衛生について・保護者支援（虐待・ネグレクト）・リトミック
2/25	気になる子の対応・一年間を振り返って・保健（小児の心肺蘇生）
3/12	新年度に向けて・保健（注意が必要な食材・誤嚥）・リトミック

《園外研修状況》

4/20	令和6年度 土浦ブロック保育協議会総会
4/23	茨城県民間保育協議会 令和6年度第1回理事会
5/17	土浦市民間社会福祉施設協議会部会実行委員会議
5/24	茨城県明楨保育協議会第2回理事会
6/15	土浦ブロック 講習会
7/12	令和6年度 幼保小接続担当者研修実施について
8/6	令和6年度 保幼小接続合同研修会
8/17	令和6年度 幼児教育教育課程研究協議会実施
8/20	令和6年度 保育士研修1について
8/29	モチベーションアップ研修

9/5	チームリーダー研修 A コース「職員から信頼されるリーダーになるためには」
11/12	令和 6 年度 保幼少接続合同研修会
1/20	令和 6 年度 第 3 回正副会長会議並びに理事会

4. 家庭との関わり

- ・園だよりを発行し保護者に園内での活動を伝えた。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭と園での生活の情報を共有した。
- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー（配信システム）を利用する。

ア) 保育参観・懇談会

- ・年 2 回、保護者参観を設け、園内での子どもの様子を見てもらう。
※今年度は、前期（6 月）後期（1 月）に実施した。
- ・年 2 回、懇談会を設け、日頃の家庭での様子や保育園での様子を話しあった。
保育園での様子をビデオで撮り、保護者にみせた。
※今年度は、前期（5 月）後期（2 月）に実施した。
※個別面談（希望者）は随時受け付けています。

イ) 苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行う。
※今年度は特になし

5. 地域との関わり

- ※感染症予防のため、老人施設との交流はできなかった。
- ※就学前の園児が真鍋小学校の一年生と交流会を行った。

令和6年度 保育園自己評価結果

童話館保育園

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	・子ども一人一人の特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した援助を行うよう心がけている。また、子どもの主体的な活動を促し、意欲をもって遊べるような援助を心がけている。子どもの話を真摯に聞き、できたことやうれしいこと、楽しいことを共感するようにしている。	子どもの主体性を引き出す保育（環境づくり・言葉かけ等）を探索し、子ども第一の保育をしながら子どもたちが豊かな発想力を持ち、意欲的に取り組み、自信につながるよう常に考えて保育（教育）をしていく。自分の思いや意見をはっきり伝えることができるよう配慮し、尊重していく。
	発達援助の基本	子ども一人一人の特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した援助を行うよう心がけている。子どもたちの気持ちを理解し、信頼関係を築くよう心掛け情緒の安定に心がけている。気になる子の発達状況や成長を職員全体で把握し全員で見守っている。	情緒の安定を心がけながら保育にあたる。生理的欲求が十分に満たされるようにしていく。また、保護者（家庭）との信頼関係を築き円滑なコミュニケーションがとれるようにしていく。無理強いせずに集団の中で、安定して過ごせるようにしていく。人的環境をよくする（余剰の職員配置等）
	健康管理・食事	一人一人の健康状態や発達について把握し、子どもの異常に敏感に気付くことができるようにしている。子どもの既往歴（アレルギー・熱性けいれん等）全職員で周知し、発生時の対応を話し合っている。看護師による園内研修で衛生・感染症についての予防、健康管理をしている。	いつもと様子が違う等、一人一人の体調の変化に留意していく。年/2回の健康診断（内科検診・歯科検診）を行う。身の回りを清潔に保つ習慣が身につくようにする。給食・離乳食会議で食事についての見直しや改善をしていく。食べる喜びや楽しさを味わいながら食への関心をもたせる。
	保育環境	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるようにしている。園内に子どもたちが季節感を味わえるような工夫をしている。子どもが活動しやすい保育室の温度、湿度などに配慮している。玩具・遊具は子どもの興味や発達にあった物を選び使用している。	子どもたちの成長、発達に合わせて環境を工夫し、園生活を豊かなものにする。子どもの健康と安全を守る為、設備や環境構成をしていく。ヒヤリハットを用いて事前に大きな怪我に結びつかないようにする。子どもが落ち着いて安心して過ごせるよう職員同士が和やかな雰囲気作りをしていく。
	子育て支援	一時預かり・・・一時的に家庭内保育が困難になった家庭や、子育てに少し疲れた親のリフレッシュのために子どもを預かっている。子育てに悩む親へのアドバイス等を行っている。在園児の保護者には子育て相談や希望に応じて面談を設けている。	保護者が子育ての悩みや、心配事を安心して話せる環境や雰囲気作りをしながらコミュニケーションをとり、信頼関係を構築していく。
	地域住民や関係機関などの連携	商業施設で園児の絵画の展示を行っている。近隣の小学校に行き、小学生との交流会に参加した。短大・大学（保育士・看護学生）の実習生を受け入れている。また、療育支援施設と交流をもち施設に通う子どもの成長の手助けをしている。	今後も絵画の展示等を通じて、園の所在を示していきたい。また、近隣の小学校との交流は就学前の子どもたちに安心を与えるものなので、継続したい。地域の学生を受け入れることで、採用につなげたい。療育の先生との情報交換をしていく。
	運営管理	保育園運営を円滑に進める努力をしてきた。行政からの監査対応等。事故や災害、不審者の侵入などに備えて、十分な予防、対応マニュアルの整備をしている。保育士が働きやすい環境を整備するようにしてきた。	保育園の運営を円滑に進めるために業務をスリム化し、効率的な運営をしていくために、ICTを取り入れ、職員の仕事が簡素化できると良いと思います。そこから保育士が働きやすい環境につながればと思います。

令和6年度 りんりん保育園事業報告書

茨城県全体の0～4歳児人口は他県に比べ、早めに減少している。

預ける保育所がなければ働きたい人は働けず、少子化に拍車をかける。このままでは数年後には、利用定員に届かなくなる。保育所の存在が、子育てへの安心につながる重要な役割になっているのは間違いない。

当園の令和6年度の保育利用者状況は、1月に定員を満たしその後最大受け入れ可能な人数を上回る状況となる。非常勤保育士を充当することができ、ゆとりのある配置となり安定につながった。在園児のほとんどが標準時間利用児であるが、長時間利用者の人数も減少し利用時間も短くなっている。就労状況と地域性による状況と思われるが、今後の利用動向を注視し、保育士配置を検討する必要がある。行事においては、昨年に引き続き、感染症流行の状況を把握し、感染対策を継続しながら楽しく参加できるように努力してきた。全てにおいて、保育士も負担がなく子どもたちにも優しくあたたかい行事を開催することが出来た。

なお、昨年と同様に保育現場・職業の魅力向上のために生涯働ける魅力ある職場づくりを目指し、ノンコンタクトタイムの導入継続による残業や持ち帰り仕事の削減、負担を減らし、ゆとりのある保育を心がけることが出来る環境づくりを心がけた。

今後も、みんなが毎日楽しく安心、安全に過ごせる環境づくりを心がけ、笑顔いっぱいの保育園を目指していきたい。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
4歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
3歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	10	2	2	3	3	5	6	6	6	6	8	7	8
合計	70	65	65	66	66	68	69	69	69	69	71	70	71

イ) 職員体制 (計 18 名)

園長	1 名	保育士	7 名	栄養士	1 名
主任保育士	1 名	非常勤保育士	6 名	調理員	1 名
副主任保育士	1 名				

2. 保育の実施状況

- ・指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活を送れるよう取り組んだ。
- ・各園児の発達状況にあった保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。
- ・定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

《主な園内・園外行事》

4/1	入園式	りんりん保育園ホール
5/8	野菜の苗植え	園庭(畑)
5/13～16	個人面談(未満児・以上児希望者)	空き室利用
6/3～7	保育参観	0～5 歳児(各クラス)
7/5	夏まつり	2 歳児～(ホール・園庭)
7/29	お店屋さんごっこ	全園児(ホール)
10/12	運動会	2～5 歳児参加(園庭)
10/25	お楽しみ保育	5 歳児(ホール)
11/10	林地区文化祭に参加・出展	林小学校に共同制作展示
11/11	親子遠足(みかん狩り)	5 歳児(13 名) 嶋村果樹園、 いばらきフラワーパーク
12/14	発表会	2・3 歳児(一部) 4・5 歳児(二部)
12/19.20	保育参観	0・1 歳児(各クラス)
12/25	クリスマス会	3～5 歳(ホール) 0～2 歳(各クラス)
1/24	クッキング(クレープ)	5 歳児(ホール)
2/7	歯みがき指導	5 歳児(13 名)
3/11	お別れ遠足(朝日峠ハイキング)	5 歳児(13 名)
3/14	お別れ会	全園児(ホール)
3/22	卒園式	4～5 歳児参加(ホール)
3/29	修了式	全園児

※ 2月の懇談会は中止とし、内容等は書面での説明となりました。

※ 個別面談（希望者）は随時受け付けています。

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施（6/17・11/15）
- ・歯科検診 年2回実施（6/13・11/7）

イ) 食育（給食）

- ・季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れ、「食を楽しむ」ことに取り組んだ。
- ・クッキングの活動の中で、体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。
- ・給食会議：離乳食会議（月1回）
給食献立の内容の確認、改善点などを話し合った。
（アレルギー除去食について・離乳食の進め方等）

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリハット報告書の事例を検証し、事故要因を解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え、避難訓練を行った。

実施日	内容	消防立合い	実施日	内容	消防立合い
4/12	火災（地震）	無	10/28	地震・火災	無
5/10	地震	無	11/6	火災（通報）	有
6/14	火災（通報）	有	12/6	地震	無
7/12	近隣火災	無	1/17	火災	無
8/2	地震	無	2/7	風水害（竜巻）	無
9/11	地震	無	3/7	火災	無

※ 不審者訓練（年2回 7/26・11/29 実施）

2. 職員

ア) 衛生感染対策

- ・定期健康診断（10/31）保菌検査（毎月全員）
※ノロウイルス検査（10月～3月）給食
- ・インフルエンザ予防接種（職員全員接種）

イ) 会議

・職員会議（毎月）

子どもが安心して楽しめる環境作りを目指し、クラスごとの様子や各家庭の状況を話し合い、情報の共有に努め同じ認識で対応出来るようにした。

行事においては反省会を開き、次年度のつなげるための課題も取りまとめた。

ウ) 園内・園外研修

職員の質の向上を目指し各研修に参加した。園外研修はオンライン研修での参加が多かった。

《園内研修状況》

4/3・4	保育士の心得、人権について・緊急時の対応、熱性けいれん・リトミック
5/7・8	乳児期の睡眠・怪我の対応、窒息、誤嚥について・リトミック
5/23・28	救急救命講習
6/13	水遊び（水の事故・プールカード・日誌）・虐待、不適切な保育・リトミック
7/2	気になる子のへの対応・熱中症、夏の皮膚トラブル・リトミック
8/5	けがの対応・食品による窒息について・リトミック
9/5	アレルギーについて、伝承遊び・リトミック
10/3	感染症の対応、嘔吐処理の仕方・リトミック
11/1	いやいや期の対応・不適切保育・冬の感染症予防策・リトミック
12/5	SIDS 無呼吸症候群の対応・食育・リトミック
1/9	切り替えができない子の対応・ヒヤリハット・リトミック
2/6	運動のバリエーション・誤飲・保育実践・リトミック
3/6	一年間を振り返って

《園外研修状況》

5/26	茨城県民間保育協議会 令和5年度施設長研修
6/6	石岡市保幼小接続研修会
6/7	第1回保幼小接続担当者合同研修会
7/1	第2回保幼小接続担当者研修
7/10	発達気になる子どもへの具体的支援
8/20	保育士研修1
8/29	第2回石岡市保幼小接続担当者等研修会
9/5	中堅保育士研修会
9/6	総合母子保健事業研修会
9/11	いしおかブロック保育協議会主任保育士視察研修

9/26	石岡幼稚園公開保育
9/27	給食施設従事者研修会
11/1	食育研修会
11/7	いしおかブロック保育協議会実技講習会
11/16	保育大会
11/29	石岡市勉強会
1/10	保育所、認定こども園主任保育士研究協議会
2/3	主任法人内研修
2/28	保育研究発表会
2/28	保育研修会

4. 家庭との関わり

- ・園だよりを発行し保護者に園内での活動を伝えた。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭と園での生活の情報を共有した。
- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー（配信システム）を利用する。

ア) 保育参観

- ・年2回、保護者参観を設け、園内での子どもの様子を見てもらう。
※前期（6月）は実施し、後期は、2歳児からは発表会を参観とし、
0. 1歳児のみクラスごとに、人数制限で行った。

イ) 苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行う。
※今年度は特になし

6. 地域との関わり

※コロナ以降、老人施設との交流はできなかったが、地域での行事（展示等）には参加した。

【林地区文化祭：絵画制作の展示】

【JA やさと：ちびっこ作品展】

【石岡市消防本部：救急の日ポスター展示】

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	・行事の内容をオクレンジャーを利用して子どもたちの様子を配信していった。保護者からはとても良い評価を得られた。 ・子どもの主体性を引き出す保育、環境づくり言葉かけ等を 適時にした。 ・行事、保育を進める中で、まずは保育士が楽しみ、そして子どもたちと楽しみを共感しながら豊かな発想力で 関われるようにした。	・園内研修等で保育所保育指針について研修したが、保育に生かされていない部分もあるため、環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫し評価結果をもとに、保育の基本を大切に子どもたちの成長の支援、援助の方法を考えていく。
	発達援助の基本	・一人ひとりの発達状況を知る中で、その子にあった援助や計画を立てて保育している。 - また、気になる子への対応では、子どもの年齢ではなく発達段階に合わせて援助していく。保育会議で話し合いを持ちながら園全体で関わることで保育の質の向上につながっている。	・個々の発達にあった対応を心がけ、特に月齢による発達の差が大きい時期は、保護者とのやり取りをしながら進められるようにする。 ・ 共通理解や意識を高め、保育会議等で話し合いながら、園全体で子どもたちの成長を見守っていきけるようにしていきたい。
	健康管理・食事	・手洗い、うがいの徹底と個々の体調確認を心がけ、子どもたち自身にも意識できるよう日々声かけをしていったことで体調の変化に早く気づき対応できた。 ・ アレルギー除去食への対応や離乳食の対応など、個々に面談し保護者との共通認識をもって関わっていった。	・ 近隣にて感染症が流行した為、感染対策マニュアルを元に、 感染対策を継続していく。 ・ 体調の変化に気づいたら、検温はもちろん食事の進み具合やその他の症状などを見て保護者への連絡をし感染の流行を防ぎ、早めに気づけるようにする。 ・ 離乳食の進め方、メニューの内容など給食会議のみでなく常に情報の共有を保護者ともしていく。
	保育環境	・子どもが安心、安全にまた衛生的に過ごせるよう、安全点検や消毒を行っていく。 ・園内での集会は、未満児・以上児に分けるなど、多くの人数が集まることの無いように行事を行い、各クラスごと、時間を短縮して内容もみんなで検討しながら進めた。	・職員、園児、保護者共に感染症対策の意識を高めていった。 ・通常保育に加え、備品等の消毒作業が増えたが共通理解のもと協力しながら行っていく。 ・ 未満児、以上児に分けてそれぞれに合った内容で行う。
	子育て支援	・ 未満児は連絡ノート、以上児はホワイトボードに園での様子を知らせ、子育ての情報共有をし成長の喜びを保護者と共有できるよう心がけた。また園見学にきた保護者の方の子育ての相談にも対応している。	・ 未就園児の園見学の時に子育て相談があるので親身になって対応できるよう自ら現在の状況を把握する。 ・ 情報を早急に伝達し、 職員が同じ認識で対応できるようにしていく。
	地域住民や関係機関などの連携	・ 地区の公民館文化祭、絵画の展示などに参加した。 ・ 近隣小学校等の感染症の流行の影響で交流は行えていないが、小学校対象の公開保育を行い、情報の交換を行い、保幼小の接続につながった。	・ 子どもたちの作品出品をし、地域の行事に参加することで地域との関係性を密にもち、地域に貢献できる園を目指していく。 ・ 継続して子育てについて相談しやすい環境作りをしていく。
	運営管理	・ チームワークを大切にし、協力体制を整えてそれぞれの頑張りを認めながら、業務の負担軽減を目指し 働きやすくなった。またその影響で子どもの自発性を大事にした運営ができた。 ・ 保育の見直し、振り返りをし、毎日の保育に繋げていくことの大切さを痛感した。	・ 次年度も園に関わる全ての人が自分らしくいられる場となるよう、職員同士、保育に対する共通理解のもとチームワークを大切にし、協力体制を整えてそれぞれの頑張りを認めながら、 働きやすい職場づくりをしていく。 ・ 共通理解の時間を持つことでみんなで問題点について話し合える環境づくりをしていく。